埼玉県立大滝げんきプラザ

「単元の学習過程を明示した簡易版」

○活動プログラム「　林業体験　」

○第２学年　技術・家庭科（技術分野）　「　木材の加工について学ぼう　」

○単元の目標

　　材料加工を行うための基礎的な理解を図るとともに、薪づくり体験、間伐体験を通して積極的に学習課題を見出し、よりよい生活の実現や持続

　可能な社会について考え、材料と加工の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けることができるようにする。

○学習過程と活動の流れ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習過程 | 活動内容 | 時数 | 活動の場 |
| 【事前学習】▶課題の把握、設定、動機づけ | ・学習の進め方を知り、見通しを持つ・材料の特性・性質について知る・材料に適した加工方法について知る・生活の問題を発見し、製作品の設計・計画・制作を行う | ８ | 中学校 |
| 【体験活動】▶課題の情報収集、追求、解決 | ・薪づくり体験・木材の特性や性質について、体験を通して理解する主体的な学び　・繊維方向による強度の違いを、試行しながら確認する　対話的な学び　・仲間と相談しながら加工したり、工具を選択したりして体験を進める | ５ | 県立大滝げんき　　　プラザ |
| ・間伐体験で木材加工の過程を学習する・フィールドワークを通して良質な建築材となる条件を考える　対話的な学び　・様々な感覚を使って、自分が感じたことや気づきを仲間と共有する |
| 【事後学習】▶整理、分析、まとめ、表現 | ・体験を通して学習したことをまとめる・自らの課題に応じた制作過程の立案道徳　自然愛護・自然の恩恵と社会活動の関係について考え、持続可能な社会の構築へ向けて、　自分なりの実践策を考える深い学び・実生活との関係を踏まえて、体験を通して学んだことをまとめ、自分なりの　実践策を考える | ４ | 中学校 |

○育成する資質・能力

【知識及び技能】

　・生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付けること。

　・森林資源と林業の役割について、生活との関連を踏まえて理解すること。

【思考力・判断力・表現力等】

　・材料の選択や成形の方法等を構想して、設計を具体化することができるようにすること。

　・体験を通じて、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができるようにすること。

【学びに向かう力、人間性等】

　・材料と加工の技術について主体的に学習しようとする態度や、よりよい生活の実現と持続可能な社会の構築に向けて，主体的に問題を解決しよ

　　うとする態度を養うこと。